

従業者向け	放課後等デイサービス評価表
-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

公表日：2025年9月30日

事業所名：A to Z Academy 放課後等デイサービス

対象人数(従業者) 5人 回答者数 5人 回収 100%

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	スペースを生かしながら、事業所内レイアウト等、利用者に応じて工夫をしながら最適な療育が実現できるよう整えている。	子どもたちが安心して参加できる環境づくりに工夫を重ねてまいります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	法令を遵守し、今後も必要とされる配置数を配置いたします。	適切な職員配置と人材育成に引き続き取り組んでまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	シンプルなつくりで分かりやすく構造化している。また、障害特性に応じた生活環境を整備しています。	子どもたちが快適に過ごせる空間づくりを継続してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	感染症対策も踏まえ、清掃を徹底し、心地よく過ごせるよう整えています。	清潔で、子どもたちが心地よく過ごせる環境の維持に努めてまいります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	パーティション等を用い、クールダウンや用途別に空間を有効活用しています。	状況に応じた柔軟な対応を心がけてまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	PDCAサイクルにて業務改善を行う仕組みを取り入れています。また、週次でミーティング等で職員の意見が出しやすい環境づくりを大切にしています。	職員一丸となって改善に取り組んでおります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	アンケート調査に加え、保護者様のご意見を元に職員間での話し合いを定期的実施することで、サービス向上に努めさせていただいております。	職員一同、継続的な改善に努めております。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	ウィークリーミーティングや朝会において情報共有を含め意見を出し合っている。	全職員で協力し、改善活動を進めております。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	必要に応じて第三者評価を実施する。	必要に応じて、適切な対応を検討・実施してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	職員の質の向上を目指し、勉強会、研修を実施しています。	今後も継続して取り組んでまいります。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	弊社公式ホームページにて公開をしています。	引き続き、継続して実施してまいります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	計画期間毎に、アセスメント実施の上、個別支援計画を作成しています。	分かりやすい説明と保護者様との連携を大切に、適切な支援計画の作成と同意のもと支援を行ってまいります。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	担当者会議を実施し、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討を行っている。	こどもの最善の利益を踏まえ、専門的な視点からアセスメントを実施しています。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	計画に沿った支援が行っている。	子どもたちが楽しく取り組めるよう、職員が工夫を凝らしてプログラムを考案しています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントのみならず、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用している。	今後も継続して取り組んでまいります。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら適切に判断し支援内容を策定している。	引き続き、継続してまいります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	プログラムの立案には児童にかかわる職員全員で話し合いの上、決定している。	子どもたちが楽しみながら参加できるよう、職員が工夫してプログラムを企画しています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	月次で活動プログラムを考案し、工夫しながら実施している。	多角的な視点から、職員それぞれがこどもたちに楽しく取り組んでもらえるようプログラムを考案しています。

関	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個々の状況に合わせてバランスよく個別療育と集団療育を組み合わせ実施している。	一人ひとりの状況に応じた支援を丁寧に行ってまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝会を毎営業日実施している。朝会では、その日行われる支援の内容や役割分担について確認するだけでなく、注意点や配慮が必要な内容を詳細に共有している。	引き続き、関係者との密な連携を図ってまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援終了後、職員間で情報共有を行い、気付いた点を共有している。次回の支援に生かすべき点や必要な配慮・目標等についても詳細に話し合いを行っています。	職員間の情報共有を重視しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	毎通所毎に記録をとると共に、職員間で共有し、検証・改善に努めています。	継続的に実施しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的なモニタリングの元、支援計画の見直しを行っています。	支援内容の適切な見直しを継続して行ってまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	0	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を実施している。	今後も積極的に参画してまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	自己選択活動を取り入れており、こども自ら考えて判断する能力の向上に努めている。	こどもたちが自ら考える力を育てよう、継続して支援してまいります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	同会議時に、該当児童の状況に精通した最もふさわしい者が参加します。	今後も継続して取り組んでまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	関係機関との連携を行い、支援体制を整えている。	関係機関との連携強化に努めてまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	学校への支援内容等の情報共有と相互理解に努め支援を行っている。	連携を重視し、今後も関係機関との信頼関係の構築に努めてまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	保育所等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解に努めている。	今後も関係機関と連携を図ってまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	関係機関との連携を行い、支援内容を共有している。	現在も実施しております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	地域の児童発達支援センターとの連携を行い、助言や研修を受ける機会を設けている。	今後も連携を継続してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	地域住民と合同で避難訓練等を実施する等、地域交流を行っている。	引き続き、関係機関との連携を継続してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	自立支援協議会のみならず、児童の自立を目指し支援を行っている。必要に応じて保護者向けに研修を実施している。	自立支援の充実に向けて取り組んでまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	ご利用日毎に支援内容を共有することで日々の課題や変化についても相互共有を行っている。	今後さらに機会を増やしていきたいと考えております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	心理士による研修を実施している。また、児童発達支援管理責任者等による助言・サポートを日々実施している。	各ご家庭の状況を把握し、支援の強化に努めてまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	入所時に丁寧な説明を心がけております。通所後も、連携を取りながら不明点の解消に努めている。	ご家族に伝わりやすいよう、丁寧で分かりやすい説明を心がけています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向同様の機会を設けている。	今後も機会の拡充に努めてまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	説明の上、合意を得ている。	継続して取り組んでまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	面談や必要な助言と支援を実施している。	話しやすい関係性を大切にし、今後も密な連携を図ってまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	0	保護者間の交流やこども同士で交流する機会を設けている。	今後も機会の充実にも努めてまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	迅速に対応している。	ご意見をいただきやすい関係性の構築に努め、ご家族への周知も丁寧に行なってまいります。

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	HPやアプリを通して活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	活動内容を継続的に配信しております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報保護法に基づき、取扱いに十分注意しています。	情報の取り扱いには厳重な注意を払い、今後も継続してまいります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	お子様や保護者の方の状況に応じて、合理的配慮の元、意志疎通や情報伝達を行っております。	一人ひとりに応じた対応を大切にしています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	心理士による研修や講演会実施時に地域住民も無料で招待するなど、地域に開かれた事業運営を大切にしております。	今後も機会の拡充に努めてまいります。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルを策定し保護者周知を行っています。また、研修・訓練も実施しています。	定期的な見直しを行いながら、実施・周知・説明を継続してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、定期的に避難を実施している。	訓練や消防検査を定期的に行っております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	服薬や発作含めた状況を把握している。	個々の状況に応じた対応を行っています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	必要に応じて医師と連携し対応している。	引き続き、関係機関との連携を図ってまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全管理に必要な研修・訓練を実施している。	継続して実施しております。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	初回通所前に災害時の避難場所や対応について保護者に共有すると共に、避難訓練実施時に改めて周知するなど、子どもの安全確保に努めている。	今後も周知の徹底に努めてまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットを職員間で共有すると共に再発防止に努めている。	事故防止のため、職員間で情報を共有し、未然防止に取り組んでおります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止研修を定期的に行い、職員間で共通認識を持った上で支援を行っている。	職員の意識向上に引き続き努めてまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	身体拘束について定期的に研修を実施すると共に、子どもや保護者に説明を行っている。	今後も継続して取り組んでまいります。